

友協
自治同愛

椎葉村立椎葉中学校 学校だより

椎の実



椎葉中HP

令和7年5月16日(金)

No.5 文責:校長
椎葉村の人に学ぶ

<2年生植林体験>

5月1日に実施しました。村内での林業の重要性や大変さを実感することができました。広域森林組合の方々にありがとうございました。



この前は忙しい中、植林体験をさせていただきありがとうございました。僕は将来、山師になるのでとても良い勉強になりました。林業といってもいろいろな種類のやり方があるということがよくわかりました。斜面が緩やかで場が良かったので、そこまでこけることはありませんでした。穴掘りをするときに、間を空けて掘らないといけなかったのが難しかったです。また、掘るときに根が張っていて硬くて掘りにくかったです。でも鍬に力を込めて、一発で地面にさして、ささった鍬をこねると土に絡まっている根が取れました。林業がどれだけ危険かということもよくわかりました。本当にありがとうございました。

お忙しい中、このような場を設けてくださりありがとうございました。今回の植林体験を通して、とても作業が大変なことがわかりました。竹で距離を図り、土を掘ったりなどの工程があり、とても大変だなと思いました。手作業で苦労したけどみんな協力して終えることができて嬉しかったですし、達成感もありました。私は椎葉の豊かな自然が大好きです。今は地球温暖化の影響で、二酸化炭素が増えていますが、椎葉の自然を維持できるように、今回の体験を活かしたいと思っています。本当にありがとうございました。

先日はお忙しい中、私たちのために準備をしてくださってありがとうございました。自分の父親も林業をしていて、怪我をして帰ってくるのが多かったので、大変なんだというのはわかっていました。そして、今回の林業体験で気づいたことが2つあります。1つ目は林業がとても危険な仕事だということです。先日は植付だけだったけど、たくさんこけて怪我をしそうになりました。2つ目は感謝です。林業は危険な仕事だけど、林業があるからこの椎葉村がある、そう思うと感謝の言葉がたくさん出てきます。今回の林業体験で椎葉のことを知ることができました。本当にありがとうございました。



<2年生 ライフストーリー>

5月8日(木)に、黒木保隆 村長から2年生12名に向けて講話をしていただきました。「椎葉村学」では、椎葉の人・もの・ことに直接触れたり、体験したりして学びを深めています。今回、黒木村長の生き方、働き方を聞き、椎葉村に対する愛情を学び、村長の夢や目標に共感する生徒も多かったです。お忙しい中ありがとうございました。

この度は、私たちのために講話をしてくださってありがとうございました。僕は今回の話を聞いて、今の椎葉村には村長が言っていたように、椎葉にはまだない新しいものを造れば良いと思いました。理由は椎葉にもっといろいろなものを造れば、観光客だったり、移住者などが増えると思ったからです。あと将来、椎葉に残るか分かりませんが、何か椎葉に関わるような仕事をしたいと思いました。本当にありがとうございました。

今日は、ライフストーリーで話を聞かせていただきありがとうございました。村長は僕達と同じ場所で育っていて、廊下で学習していたと聞いてびっくりしました。また村長は、椎葉のたくさん問題に取り組んでいるんだなあと思いました。村長の給料が〇〇万円以上あることがとてもうらやましかったです。椎葉は人が減っていついなくなるので、たくさん人が来て欲しいです。またコンビニがあったら...などと思っています。そして「プロジェクトX」もとても気になります。どんなものができるか楽しみです。早く道が良くなり、そのものも見たいです。6月を楽しみにしています。ありがとうございました。

お忙しい中、私たちのために講話をしてくださりありがとうございました。私は講話を聞き、椎葉のことをたくさん知りました。どうやって村長になったのか、村長のやりがい、給料など貴重なお話を本当にありがとうございました。保隆村長のお話を聞き、最初は椎葉に帰ってこないつもりだったけど、少しでも椎葉の役に立てるように、椎葉に帰ってきてより良い椎葉をつくっていきたいと思いました。今日は本当にありがとうございました。

<友だちにも階段があるらしい...>

親友への階段



友だちにもその中味によって階段があります。2段階目の「限りなく許容し、同調する」で止まってしまうと、友だちとはそういうものだと思ってしまう。お互いに注意し合うことなく、絶えず低い方へ流れていく友だち関係ができ、集団のレベルも下がってしまいます。

現在の授業態度はどうでしょうか。楽しいこと、おもしろいことに全体が流れてしまい、2段階目で停滞しているときがあるのではないのでしょうか。先日の生徒総会のときのように、しっかり聴くとき、話し合うときのメリハリをつけ、4段階目の「注意しあう」関係が築けてきて、仲間が増えてくると、残りの階段は案外簡単に登れてしまいます。注意は難しい、勇気がいります。そこを乗り越えて

まずぼくがいて
つぎにきみがいるのか
まずきみがいて
つぎにぼくがいるのか
雨あかりのかたふわりニひき
並ぶその姿を見つめながら
存在するものの在り方と思う
そうだとすもつぎにもいつない
ぼくがいまきみに
きみがいまぼくに
いつにへやあんと笑いかける
だから仲間なのではないか
並んで歩みいつに学ぶ
だから友だちなのではないか

友だちの風景

宮澤章二



<ニコニコ大作戦スタート!!>

13日(火)に実施しました。活動計画等の審議の後には「どのようにしたらみんなの笑顔が増えるか」という題で全体協議をしました。各学年から様々な意見や質問がでて、大変活発でした。今後、生徒会が中心となって取組をまとめていくようなので、協力して進めたい。役員の皆さん、各学級委員長さんの力で、総会が成功しました。本当にありがとうございました。

